

対面開催

高校生対象：AI時代の会計データサイエンス入門 会計データから株式評価をしてみよう

日時：2024年8月29日（木）10：00～16：00（最大：16時30分）

*お昼を持参ください。

会場：静岡県立大学草薙キャンパス経営情報学部2階4215室（計算機実習室）

対象：高校生

参加費：無料

参加方法：要申し込み（先着順：最大20名）

8月26日（月）17時までに以下のフォーム（QRコード）より申し込みください。

<https://forms.gle/4rkGQ72hGTKt5bs68>

締め切りを過ぎても参加可能な場合もありますので、お問い合わせください。

*悪天候時には大学内の規定に従い中止します。

【講座概要】

ChatGPT（生成系AI）は、人間が行うより遥かに早いスピードで、様々な作業を代行してくれる、便利な道具です。今後、ますます活用が進んでいくでしょう。しかしながら、ChatGPTは、実際の判断は行ってくれません。一定の仮定を置き、将来を予測に基づき判断するのは、私たち人間が行わなければなりません。

この講座では、高校生の皆さんに株式評価の方法の一つであるDDM（配当割引モデル）を実践してもらいます。配当割引モデルは「業績予想の作成」と「企業評価の実施」の2つのステップで行います。業績予想を行うにあたり、企業が公開している有価証券報告書と業界情報を読み取り、将来の成長率を考えていきます。そして、企業評価にあたっては、現在価値、資本コスト、株式価値を考慮していきます。予想を行う上で欠かせない『仮定』と『判断』の考え方を学びましょう。

【スケジュール】

受付開始：9時30分

10:00～11:00 企業情報の読み取り方（有価証券報告書の活用方法を学ぶ）

11:00～12:00 ざっくりと業績予想と株式評価のやり方を学ぼう

13:00～16:00 数値を当てはめ、予想をしてみよう（グループワーク）

*適宜休憩を挟みながら実施します。

問い合わせ先

上野雄史（静岡県立大学経営情報学部）

メール：ueno@u-shizuoka-ken.ac.jp

電話番号：054-264-5241

（なるべくメールでのお問い合わせをお願いします）



【講座Q&A】

Q:何をするの？

A:公開されている会計情報を活用し、業績予想、株式評価を行う方法を学びます。またグループで話し合いながら将来予想をし、株式評価をしていきます。

Q:PCはどのくらい操作できたらよい？

A:今回はMicrosoftのExcel、PowerPointを使用します。どの程度扱った経験があるかを事前に聞かせて頂き、グループワークで考慮します。

Q:簿記・会計の知識がないけど大丈夫？

A:簿記・会計の初学者を想定して行いますが、この点も考慮して、グループ分けを決めておきます。

Q:キャンパスは見て回れる？

A:講座終了後に学生たちによる短時間のキャンパスツアーを予定しています。

Q:県外からでも参加できる？

A:参加は可能です。駐車場は用意できないので公共交通機関をご利用ください。

Q:PCは持参したほうがいい？

A:学内のPCを使用しますので、持参されなくても大丈夫です。スムーズに分析を行うためために、複数台あった方が便利かもしれませんが、持参できる方はお持ちになっていただくとよいでしょう。

【登壇者プロフィール】



コーディネーター
/講師
上野 雄史

静岡県立大学経営情報学部 教授。2007年9月関西学院大学商学研究科博士課程後期課程修了（博士、（商学））。2005年4月より静岡県立大学助手を経て、2021年4月より現職。理化化学研究所AIPセンター客員研究員/Economics Design Inc. シニアエコノミスト/日本リスク学会理事 会計学の研究、教育を行う傍ら、「全ての人たちが自律的（autonomous）に生きられる」社会の実現に向けた活動を行う。経営情報学部では、会計学総論（1年次担当）、財務会計論（2年次担当）、経営分析（2年次担当）を担当。



講師
太田 裕貴

専修大学商学部准教授。2016年3月大阪市立大学（現大阪公立大学）経営学研究科後期博士課程修了（経営学博士）。2015年4月大阪経済法科大学経済学部非常勤講師、2016年4月静岡産業大学情報学部専任講師を経て、2024年4月より現職。経営情報学部では会社会計（1年次担当）、経営財務論（3年次担当）を担当。